

地域社会や未来でつながる職場体験学習

広州日本人学校中学部3年生では、進路指導や総合的な学習の時間の一環として職場体験学習を実施しています。今年度は、广汽本田様、みずほ銀行广州分行様、广州日航酒店様の3事業所様にご理解とご協力を頂き、7月15日（木）と16日（金）の2日間、貴重な体験をさせていただきました。

广汽本田様では、鉄の塊が一台の車になるまでの行程見学や振動検査、インパクトを使ったネジ締めなどの体験をし、世界に誇る日本の技術の一端を見聞・体験させていただきました。「命を預かる」「良い製品はきれいな職場から生まれる」などの言葉や仕事に全力を尽くして取り組む姿などが印象に残ったようでした。

みずほ銀行广州分行様では、札勤の技術を教えていただいたり、中信銀行へも見学へ行かせていただいたりして日本の銀行との違いなどを具体的に学ばせていただきました。レストラン出店体験では、幅広い知識と銀行のサポートの重要性を学ぶとともに、自分のためだけでなく思いを持って仕事に取り組む姿などが印象に残ったようでした。

广州日航酒店様では、ベッドメイキングや飲茶づくり、広州点心名物パイナップルパン作りなど、身近であったホテルを支える様々な仕事や役割に触れ、視野を広げること

ができました。仕事に対する強い責任感やプロの技など、見えないところにかかる仕事への熱い思いなどが印象に残ったようでした。

事前学習中の生徒たちは、大人とうまくコミュニケーションを取ることや仕事内容が覚えられるか等の不安を抱えていたようでした。しかし、体験後の感想からは「夢を持っては不可能なことはない。」「挨拶を意識的に心がけることができた。挨拶に自信が持てました。」「これまで利用してきたホテルでは、見えないところで大勢の方が丁寧な仕事をされていることを初めて知った。」「自分の中国語会話力に自信が持てた。」など職場体験学習を通して、働くことの素晴らしさや厳しさ、社会人としてのマナーやルールを感じることができた様子でした。また、多くの日本企業が誇りをもって広州で働かれていること、私たち広州日本人学校が多くの日本企業などに支えていただいていることなどを改めて実感した二日間となったようでした。

最後になりましたが、今回の職場体験学習の実施にあたり、コロナ禍の対外的な交流や活動が難しい情勢の中、多くの方々のご理解とご協力の下で職場体験学習を実施することができました。本当にありがとうございました。

